




# 令和元年 8 月 定 例 委 員 会

議 事 録	発行年月日 令和元年 9 月 10 日		
	会 長	総務部長	担 当
			
令和元年 8 月 27 日 (火)	場 所 第 1・第 2 集会室		
議 題 1 報告    2 協議    3 事務局から    4 その他			
資料 1. 2019 (令和元) 年 9 月、10 月予定 2. 役員会 (8/21) 記録 3. 防災フォーラム 4. 地域交流会「こみゆに亭」			
出席者 協議会委員 18 名 事務局 3 名			
司会 ; 丹羽副会長、議事録署名人 ; 萩原委員・横尾委員			
1. 報告 1.1. 役員会 会長から資料 2 に基づいて報告があった。 日時 8 月 21 日(水)13 時~14 時 20 分、 場所 ボランティア室 1.2. 総務部 館外研修 日程 11 月 20 日 (水) 場所 日本銀行、貨幣博物館見学 時間 9 時~12 時 1.3. 地域交流部 本天沼集会所まつり (10/20) と、萩窪音楽祭 (11/9) の準備を進めている。 本天沼集会所まつりと、萩窪音楽祭の実行委員会を 9 月 3 日 (火) 13 時同時開催する。新たに大矢委員、中田悦子委員が加わる。 松溪中のおそび市と、天沼中のスマイルマーケットの実行委員会のメンバーを決めて準備を開始する。 1.4. 事業企画部 8 月の予定 ハーモニーを楽しむヴォイストレーニング 4 回目 (8/30、金) で最終回を迎える。講師 : 安藤操先生			

## 8月の実施報告

山田朗先生講演「天皇即位儀式の返遷からそして令和へ」(8/17)。参加者 38 名、年代は 70 代が最多。非常に好評であった。今年が 4 回目で毎年好評。

講談鑑賞会 (8/24)。演目：怪談牡丹灯籠。出演：神田山緑師匠 (お札はがし)、田辺銀冶師匠 (栗橋宿)。応募者 80 名、参加者 67 名。アンケートは大変満足したが大半。

### 1.5. 広報部

ホームページ協議会専用サイトを新設。映像を使って今後の活用方法について説明。まずは、委員会資料、スケジュール、アンケート集計結果、委員会記録などを入れていくこととする。

広報紙「わたしのおぎくぼ」の入稿の手配 (8/27)

### 1.6. 「道の愛称」プロジェクト

荻外荘通りに関係する荻窪東町会と荻窪中央町会の会長に参加して頂き、どの様に愛称を広めていくか協議し、今後の協力をお願いした。

「荻窪の記憶」の第 3 回パネル展の予定

センターは来年の 3 月か 4 月、博物館は 5 月か 6 月に開催。

## 2. 協議

### 2.1. 新委員の募集について

応募者男女各 1 名の合計 2 名の面接が終了し、本日の委員会です承された。10 月 1 日から活動に参加。

委員不足が解消されないので、今後は常時募集とすることが了承された。

### 2.2. 「防災フォーラム」(12/15) について (資料 3)

今後は染谷実行委員長の下に、檜枝会長、丹羽副会長に 4 名の委員 (大矢、高橋、中田悦子、南) を新メンバーに加えて実行委員会として取り組む。

西荻との第 1 回合同実行委員会を 9 月 24 日 (火) 15 時に開催

プログラム

<第 1 部> 中学生レスキュー隊の発表 (天沼中に協力依頼、20 程度参加予定。他の 3 校は個別に訪問し協力依頼する。)

<第 2 部> 講演 講師 池上三喜子氏

<第 3 部> 荻窪消防署の講話+町会との意見交換と懇談

### 2.3. 「荻外荘通り」プレートについて

協議会 OB 松井氏デザインの原画を見せながら、今後の予定 (役員会記録 2-3) について説明があった。

### 2.4. 地域交流会「こみゆに亭」について

資料 4 に基づいて説明があった。「作って、食べて、遊ぼう」(仮) として、近隣の西田小と桃二小の協力を得て、児童と親や弟妹を対象にして、11 月 23 日 (土、祝) 11 時~15 時で実施予定。料理についてはサポータの協力を得る。

### 2.5. 予算等

#### 2.5.1. 2020 年度予算の課題の列举と審議日程について

(役員会資料 2-5) について説明があった。各部への配分は、今後委員会で検討する。

#### 2.5.2. 道の愛称と、荻窪の記憶、プロジェクトの財源の手当てについて

概算（役員会資料 2-5-2）の必要金額の説明があった。今後の財源について検討。

### 2.5.3. 来年度自主財源 60 万円減収対策について

以下の意見が出た。

- ・増収を考えずに、区の補助金の範囲の中で事業の運営を行っていく。
- ・各部署でやれることをそれぞれ検討し、委員会で検討していく様にしてはどうか。
- ・自主財源の増収を図る。例えば、200 円の参加費を講座ごとではなく毎回徴収する。イベント等の模擬店の価格を値上げする。参加費の単価を上げる等が考えられる。
- ・クラウドファンディング等の方法で寄付を集める。その際は、外部団体を作る必要があるのではないか。

### 3. 事務局から

- ・来年度の区の補助金は、上限の 900 万円を要求した。事業の内容や補助金の分配は今後役員会で検討していきたい。

### 4. その他

なし

荻窪地域区民センター協議会

令和元年 月 日

議事録署名人

萩原 伸一



議事録署名人

横尾 耕一

